

会 議 概 要	
事 務 局	開 会
会 長	挨拶
事 務 局	本運営協議会の出席状況について、全委員15名のうち14名の出席により本協議会は成立し、傍聴人が2名である旨を告げ、議長を大関会長にお願いする。
議 長	本日の会議の議事録署名人として、小寺委員並びに岡田委員を指名する。
議 長	<p>本日は、会議室内の密接状況の防止のため、事務局の説明者を担当部局ごとに入れ替えて実施させていただきたい。</p> <p>まず、医療センター関連の議事（2）及び報告事項（1）についてご審議いただき、説明者の入れ替えと暫時休憩を挟み、国民健康保険課関連の議事（1）及び議事（3）、並びに報告事項（2）の順にご審議いただきたいが、よろしいか。</p> <p>（了承）</p>
議 長	医療センター関連議案である議事（2）令和元年度川口市病院事業会計決算見込（案）について上程し、事務局の説明を求める。
事 務 局	資料6ページから8ページにより説明。
議 長	事務局より説明があつたが、何か質問はあるか。
委 員	①資料の6及び7ページ、医業収益について、令和元年度は平成30年度と比較して増加しているが、医業費用も同様に対前年度比で増加している。これは、収益が増えれば、費用も増えるというような、病院特有の構造があるのか。他の企業の場合、赤字であれば値上げを考えるが、病院の保険診療はそれが不可能である。赤字の補てんについてどうするのか。

事務局	<p>①2 収益的収入及び支出に記載のとおり、令和元年度は、総収益は約182億5千万円で、前年度に比べ、約6億9千万円増収となったものの、総費用は、約190億7千万円で、前年度に比べ、約6億7千万円増加した。その結果、約8億1千万円の純損失となったものである。</p> <p>記載にはないが、収益性の指標から見ると、経営の効率性を示す経営資本医業利益率は、医業収益の増加が材料費の増加を上回ったことにより、向上しているものの、医業活動による採算性を示す医業収支比率は依然として100%を下回っている。人や設備の稼働率向上が、経営改善に向けての主要課題と認識している。</p>
委員	<p>①収益的収支において平成30年度、令和元年度と各年約8億円の赤字計上であるが、これは、減価償却費を平成30年度は約14億円、令和元年度は約15億円、現金の支出を伴わない費用として計上した結果である。資金的にショートはしないが、資本的支出の補てん財源に懸念が出てくる。補てん財源の残高を平成30年度と令和元年度について教えてほしい。</p>
事務局	<p>①補てん財源の残高は、平成30年度決算時15億9,752万7,535円、令和元年度決算時7億2,141万2,551円である。</p> <p>(その他質疑なし)</p>
議長	<p>議事(2)令和元年度川口市病院事業会計決算見込(案)については了承することよろしいか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>
議長	<p>報告事項(1)「川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020」の点検・評価について事務局より説明を求める。</p>
事務局	<p>資料11ページから38ページにより説明。</p>
議長	<p>事務局より説明があったが、何か質問はあるか。</p>
委員	<p>①地域医療支援病院となって数年経過する。登録医の拡大をさらに進める必要があるとのことであるが、登録医は川口市内のみであるか、あ</p>

事務局	<p>るいは県内を対象とするのか。</p> <p>①川口市内を中心だが、川口市医師会及び戸田市や蕨市など近隣市の医師会、歯科医師会と協議会を設置し、登録医の拡大に努めている。また、患者の早期社会復帰を目指すための回復期リハビリテーション病院や療養病院等は、川口市内に数が少ないことから、近隣の足立区などにも登録医に登録頂くよう声掛けしている。</p>
委員	<p>①DPC 特定病院群（Ⅱ群）への移行について、内科領域は要件を満たしているものの、外科領域は基準に届いていないとのことである。安全・安心な医療体制を継続するための経営安定化に向けた DPC 特定病院群（Ⅱ群）への移行の取り組みについて説明を求める。</p>
事務局	<p>①DPC 特定病院群（Ⅱ群）について、外科は高度な手術を行うことなどにより、外保連手術指数の数値が上がるが、前回の対象期間においては基準が達成できなかった。令和2年度は、心臓外科の手術などが増加しており、外保連手術指数の向上に取り組んでいる。DPC 特定病院群（Ⅱ群）への移行について、どの項目を向上させることが効果的であるかについて、戦略的に分析している。当院の課題は、診療密度であり、入院期間Ⅱまでに医療提供を行い、回復・リハビリテーション・在宅切り替えの適正化を図っている。成果としては、新型コロナウイルス感染症への対応があることから大きな数値を上げていないが、今後も DPC 特定病院群（Ⅱ群）への移行に向け、引き続き取り組んでいく。</p>
委員	<p>①評価レベル C の項目について、今後どのように取り組んでいくのか。</p>
事務局	<p>①C 評価は、主に経営指標に係る数値目標であり、人や物の稼働率をさらに上げ、経常収支比率など各種指標の向上に引き続き取り組んでいく。</p> <p>(その他質疑なし)</p>
議長	<p>以上で医療センター関連の議題は終了する。</p> <p>説明者の入れ替えと換気のため、暫時休憩する。</p> <p style="text-align: right;">午後2時 休憩</p>

午後2時5分 再開

議長

再開する。

議長

国民健康保険課関連議案である議事（1）令和元年度川口市国民健康保険事業特別会計決算見込（案）について、事務局より説明を求める。

事務局

資料1ページから5ページにより説明。

議長

事務局より説明があったが、何か質問はあるか。

委員

① 歳入5款繰入金のうち、法定繰入と法定外繰入の内訳は。
② 歳入7款諸収入のうち、2項雑入の返納金について、前年度と比べて大きく増加している理由は。

事務局

① 職員給与等の人件費、事務費、7割、5割、2割の法定軽減の補填分などの法定繰入金が約37億円、歳入不足を補う、いわゆる赤字である法定外繰入金が約1億5千万円となっている。
② 関東地方厚生局による医療機関への適時調査の結果、医療機関からの返還金が増加したためである。

委員

① 平成27年度と比較し、一般会計からの赤字繰入金が大幅に減少した理由は。

事務局

①平成30年度の制度改正により、国保財政の運営主体が埼玉県となったことや国保財政に対する国の公費拡充が平成30年度より1,700億円追加となったことに加え、本市の国保税の収納率が向上していることが、赤字減少の主な理由と考える。

（その他質疑なし）

議長

議事（1）令和元年度川口市国民健康保険事業特別会計決算見込（案）については了承することよろしいか。

（異議なし）

議 長	議事(3)川口市国民健康保険税の減免制度等の変更に関する答申(案)について、事務局より説明を求める。
事 務 局	資料9ページから10ページにより説明。
議 長	事務局より説明があったが、何か質問はあるか。 (質疑なし)
議 長	議事(3)川口市国民健康保険税の減免制度等の変更に関する答申(案)について、了承することよろしいか。 (異議なし)
議 長	本協議会の意見として、この答申(案)のとおり、市長に答申することとする。
議 長 事 務 局	報告事項(2)その他について、事務局より説明を求める。 今後の会議開催予定について説明。
議 長	事務局より説明があったが、何か質問はあるか。 (質疑なし)
事 務 局	閉 会